

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	医療型短期入所整備促進事業				シート番号	011-166
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課 評価責任者(課長名) 佐野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市医療型短期入所整備促進事業補助金交付要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	医療的ケアが必要な重症心身障害児者に対する介護者の負担は大きく、レスパイトを目的とした短期入所の利用ニーズは高いが、人工呼吸器管理等の高度な医療的ケアに対応できる医療型短期入所事業所が少ない現状がある。介護者の心身の負担軽減を図ることを目的に空床利用型の医療型短期入所事業所の整備を促進するため、平成29年度から本事業を実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	医療法第1条の5第1項に規定する病院の空床を利用して、短期入所を提供する法人			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	「診療報酬」と「指定障害福祉サービスの短期入所に係るサービスの報酬」の差額分を補助し、医療型短期入所事業所の整備を促進することにより、在宅で医療的ケアが必要な重症心身障害児者の介護者の心身の負担軽減を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	病院の空床を利用して、短期入所を提供する法人に対して、在宅で医療的ケアが必要な重症心身障害児者を医療型短期入所で受け入れた場合に、当該病床を医療提供に利用した場合の診療報酬と指定障害福祉サービスの報酬との差額に相当する費用(1人当たり、10,300円/日。)を助成する。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	病院の空床を利用して短期入所を提供する法人				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	1,860	0	1,360	0	1,360	0	1,319	
主な事業費内訳	補助金	千円	1,860	0	1,360	0	1,360	0	1,319
		千円							
		千円							
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円	1,860	0	1,359	0	1,359	0	1,319
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,680	820	2,180	820	2,170	810	2,139	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	医療型短期入所整備促進事業	シート番号	011-166
-------	---------------	-------	---------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	医療型短期入所事業所としての事業所登録を行う病院がなかったため、令和元年度の実績はない。						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		医療型短期入所を提供する事業所数	か所	目標値	1	1	1	1
				実績値	0	0	0	
				達成率	0%	0%	0%	
				評価	悪い	悪い	悪い	
	算出方法・設定根拠など		医療型短期入所事業所として登録がある事業所数					
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		目標値						
		実績値						
		達成率						
		評価						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費		千円		
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)		円/単位		
	備考(算出についての説明等)		医療型短期入所登録事業所数が、H29～R1の間0のため。			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費		千円		
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)		円/単位		
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	病院に対して、障害福祉サービス事業所の指定を受けて医療型短期入所のサービスを提供する必要性とメリットを十分に説明できなかったことが原因と考えられる。引き続き、病院に対して同事業の必要性を説明し、事業所指定につなげていく。

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうだったか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	医療型短期入所整備促進事業	シート番号	011-166
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 人工呼吸器管理等の高度な医療的ケアを必要とする重症心身障害児者の介護者における心身の負担軽減を図ることができなくなる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 人工呼吸器管理等の高度な医療的ケアを必要とする重症心身障害児者の介護者における心身の負担軽減を図ることができなくなる。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 人工呼吸器管理等の高度な医療的ケアを必要とする重症心身障害児者の介護者における心身の負担軽減を図ることができなくなる。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 医療型短期入所の指定を受けた病院が、重度心身障害者を受入れた場合の補助事業のため、改善する必要はない。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	医療型短期入所の指定を受けた病院が、重度心身障害者を受入れた場合の補助事業のため、改善の余地はない。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	大阪府が全額補助する制度として、平成29年度に開始したが、事業所指定を受ける病院がないため、これまで実績がない。医療的ケアが必要な障害児を受け入れるために病院に必要な体制等について、府内の事例を研究する。		